

石川労働局発表
令和7年12月26日(金)

石川労働局労働基準部

担当 健康安全課長 宮田玄彦
課長補佐 大川陽平
連絡先 076-265-4424

治療と仕事の両立の理解と促進に向けて 「がん等の治療と仕事の両立支援セミナー」を開催します

石川労働局(局長 八木健一)では、治療と仕事の両立の理解と促進に向けて、「がん等の治療と仕事の両立支援セミナー」を開催します。

今回のセミナーでは、OHサポート株式会社 代表 今井鉄平氏による特別講演や、株式会社PFU 保健師 九野真衣氏による事例発表等をご紹介します。

多くの方々や事業場に「治療と仕事の両立支援」を行うことの意義や重要性について理解していただくため、各報道機関の皆様には、当セミナー開催の取材並びに周知に御協力をお願いいたします。

○ 「がん等の治療と仕事の両立支援セミナー」(別添1参照)

1 開催日時 令和8年1月29日(木) 14:00~16:00



2 開催方法 Zoomによるオンライン配信

3 プログラム
特別講演 「中小企業におけるがん等の治療と仕事の両立について」

講師：OHサポート株式会社 代表 今井鉄平 氏

事例発表 「治療が必要になっても安心して働き続けられる職場づくり」

講師：株式会社PFU 健康管理室 保健師 九野 真衣 氏

4 主催

石川労働局、石川県、石川産業保健総合支援センター、

石川県地域両立支援推進チーム(※)

※「石川県地域両立支援推進チーム」とは、石川県内の実情に応じた治療と仕事の両立支援を効果的に進めるため、石川県における関係者のネットワークを構築し、両立支援の取組の推進を図ることを目的として設立されています。(別添2参照)

令和7年度 がん等の治療と仕事の両立支援セミナー

= 治療も仕事も、大切にできる社会を目指して =

がん等の治療と仕事の両立支援で、がん等の病気になっても、仕事をあきらめない、誰もが安心して働き続けられる職場の作り方を学びませんか？

開催日時：1月29日（木）14:00～16:00

開催方法：Zoomによるオンライン配信

定 員：200名

対象者：企業の人事・健康管理担当者、産業保健スタッフ
事業主、医療関係者、治療と仕事の両立を望む方

特別講演 「中小企業におけるがん等の治療と仕事の両立について」

講師紹介 OHサポート 株式会社 代表 今井 鉄平 氏



【プロフィール】

産業医科大学医学部医学科卒業
産業医大環境疫学研究室、松下電器健康保険組合（現 パナソニック健康保険組合）産業医を経て、2008年よりアズビル（株）統括産業医として勤務、海外現法も含めた、アズビルグループ企業の統括管理を行った。2018年2月にOHサポート（株）を開設。中小企業向けの産業医サービス提供を主業務とし、その他、講演、執筆、研究活動を行っている。

事例発表 「治療が必要になっても安心して働き続けられる職場づくり」

講師紹介 株式会社 P F U 健康管理室保健師 九野 真衣 氏

申込先・申込方法

申込先：石川県健康福祉部健康推進課生活習慣病対策グループ

連絡先：076-225-1437

申込方法：下記URLもしくはQRコードよりお申込みください。
<https://ttzk.graffer.jp/pref-ishikawa/smart-apply/apply-procedure-alias/20260129-ryouritsushien>

申込締切：令和8年1月15日（木）



治療と仕事の両立支援のご案内

病気でも働き続けたい。そんな働く人の気持ちを応援します。

1. 治療と仕事の両立支援とは

それまで健康だった人が病気にかかり治療が必要になると、以前の通りには働けなくなるケースが出てきます。その場合、治療に専念することになるか、あるいは、治療しながら働くことができるのかはケースバイケースですが、治療しながら働くことを希望する人にとっては、治療と仕事を両立させることができるのかは大きな問題です。

一方で、働く人の職場、とりわけ、人事労務担当者や産業保健スタッフ、そして、共に働く上司や同僚にとっても、治療と仕事の両立支援は重要な課題です。治療をしながら働きたいという思いがあり、主治医によってそれが可能だと判断された人が働けるような環境の整備が求められています。

「石川県地域両立支援推進チーム」は、治療と仕事の両立支援の実現をめざして、多方面から関係者のサポートを行っています。

2. 治療と仕事の両立支援の流れ

労働者（患者）本人から事業者への申し出により始まります。

① 仕事に関する情報の提供

労働者（患者）は、治療と仕事の両立支援が必要となった場合、まずは自らの仕事に関する情報について「勤務情報提供書」等を作成して主治医に提供します。



①及び②を一体のものとした「治療と仕事の両立支援カード」を使用しても差し支えありません。



① 両立支援の申し出

主治医から収集した「主治医意見書」等の情報を事業者に提出し、両立支援を申し出ます。



③ 主治医意見の提出

主治医意見書等の情報を事業者に提出し、両立支援を申し出ます。

主治医

② 主治医意見の提供

次に、主治医から「主治医意見書」等で、支援に必要な以下に関する情報の提供を受けます。

- ア：症状・治療の状況
- イ：退院後/通院治療中の就業継続の可否に関する意見
- ウ：望ましい就業上の措置に関する意見
- エ：その他配慮が必要な事項に関する意見



④ 産業医等の意見聴取

事業者は、産業医等から意見を聴取し、主治医の意見や労働者（患者）本人の要望を勘案し、具体的な支援内容について検討します。

- ・就業継続の可否
- ・就業可能な場合の就業上の措置
- ・治療に対する配慮

入院等による休業を要する場合

⑦ 休業開始前の対応

事業者は、休業に関する制度と休業可能期間、職場復帰の手順等について情報提供を行います。労働者（患者）は、休業申請書類を提出し、休業を開始します。

⑧ 「職場復帰支援プラン」の策定

疾病が回復した際には、配置転換を含めた職場復帰の可否を判断し、労働者（患者）が職場復帰するまでの「職場復帰支援プラン」を策定します。



入院等による休業を要さない場合

⑤ 「両立支援プラン」の策定

治療をしながら就業を継続するための「両立支援プラン」を策定します。



⑥ 「両立支援プラン」の実行

周囲の同僚や上司等に対して、必要な情報に限定した上で可能な限り開示し、理解を得ながら「支援プラン」を実行します。

患者さんを中心に中立な立場で医療機関と企業との間で情報を共有し、仲介・調整の役割を担います。

【養成研修】



3. 治療と仕事の両立支援を進めることの意義

事業者のメリット

- ・労働者の「健康確保」の増進
- ・継続的な人材の確保
- ・労働者のモチベーションの向上による人材の定着・生産性の向上
- ・「健康経営」の実現など

労働者のメリット

- ・治療に関する配慮が行われることによる病気の増悪の防止
- ・治療を受けながらの仕事の継続
- ・安心感やモチベーションの向上
- ・収入を得ることができるなど

医療機関の皆様へ

患者本人と企業が共同で作成した勤務情報書に基づき、主治医が、患者に療養上必要な指導を実施し、企業に對して診療情報を提供した場合については、診療報酬に「療養・就労両立支援指導料」が加算されます。



4. 治療と仕事の両立支援を行うための環境整備のポイント

- ① 事業者による基本方針等の表明と労働者への周知
- ② 研修等による治療と仕事の両立支援に関する意識啓発
- ③ 相談窓口等の明確化
- ④ 治療と仕事の両立支援に関する制度・体制等の整備

5. 石川県地域両立支援推進チームとは？

治療と仕事の両立支援を効果的に進めるため、石川県における関係者のネットワークを構築し、両立支援の取組の推進を図ることを目的としています。

- 石川県経営者協会
- 日本労働組合総連合会石川県連合会
- 石川県医師会
- 石川県 健康福祉部健康推進課
- 金沢大学附属病院 肝疾患相談センター
- 金沢大学附属病院 患者サポートセンター
- 金沢医科大学病院 地域医療連携事務課
- 金沢医療センター
- 石川県立中央病院

- 石川産業保健総合支援センター
- 石川県社会保険労務士会
- 石川県医療ソーシャルワーカー協会
- 日本産業カウンセラー協会
- 日本キャリア開発協会
- 石川県看護協会
- 石川労働局 職業安定部職業安定課
- 石川労働局 雇用環境・均等室
- 石川労働局 労働基準部健康安全課

6. お役立ち情報（治療と仕事の両立支援ナビ）

ガイドライン・連携マニュアル・助成制度等



取組事例



セミナー情報



実践ヒント集



ハンドブック



7. 相談可能な支援機関

県内のがん相談支援センター

治療と仕事の両立支援への取組の概要

県内のがん診療連携拠点病院等にあり、看護師やソーシャルワーカー等のがん相談専門のスタッフが治療と仕事の両立支援のほか、治療や療養生活全般に関しての相談を受け付けています。

対象者 がん患者、家族、地域の皆さん

対応者 看護師、医療ソーシャルワーカー、社会保険労務士、臨床心理士など

内容

治療や療養生活全般の相談に電話や面談で対応します。こんな時、お気軽にご相談ください。

- ・治療をすることで今まで通り仕事を続けられるかわからない。
- ・治療による外見の変化が心配。
- ・どの治療を受けたらいいかわからない。
- ・今後の生活についてどこに相談したらいいかわからない。

お問い合わせ先

がん診療連携拠点病院とがん診療連携協力病院及びがん診療連携推進病院内のがん相談支援センター利用時間はホームページでご確認ください。

ホームページ

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenkou/soudan/soudan-center.html>



石川県難病相談・支援センター

□ 治療と仕事の両立支援への取組の概要

仕事に関して不安や悩みをお持ちの難病患者の方へ就労に関する相談・支援を行っています。

□ 対象者 難病や小児慢性特定疾患の患者とそのご家族の方、支援者、雇用している企業の方 など

□ 対応者 保健師、作業療法士、理学療法士 等

□ 内容

○電話、メール、面接による相談支援を行っております。

- ・難病と診断されたが、今の仕事が続けられるか不安
- ・社内で病気のことを相談できる人がいない、もしくは、理解を得られず退職してしまった…など個人個人で症状や必要な支援が異なりますので、ぜひ一度ご相談ください。

○ご希望により職場の環境調整（職場のバリアフリー支援・福祉用具の導入支援）などの支援も行っています。

○月に1回、ハローワーク金沢の難病患者就職サポーターさんによる個別相談の日を設けています。
(予約制)

□ 周知・普及・促進活動

- ・事業案内のリーフレットを作成、配布しています。
- ・患者さんやご家族を対象に医療講演会を開催し、疾患に関する最新の情報や日常生活の留意点等について学ぶ機会としています。

□ お問い合わせ先

所在地：金沢市赤土町二13-1 石川県リハビリテーションセンター内

時間：〈平日〉8時30分～17時15分〈土曜日（電話相談のみ）〉8時30分～12時30分

※面接でのご相談は予約制です。

電話：076-266-2738 メール：nanbyou@pref.ishikawa.lg.jp

□ ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/nanbyou/index.html>



石川県がん安心生活サポートハウス つどい場はなうめ

□ 治療と仕事の両立支援への取組の概要

がんと暮らし、就労に関するプログラムを定期的に開催するほか、専門職やピアサポーターによる個別相談にも対応しています。

□ 対象者

がん経験者、家族、遺族、事業所の担当者、がんに関わる専門職

□ 対応者

ソーシャルワーカー、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー、就労ナビゲーター（ハローワーク金沢）、医師、看護師、ピアサポーター（がん経験者等）

□ 内容

- ・がんと暮らしのカフェタイム（毎月第2土曜日10:00～12:00）
ソーシャルワーカー、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナーによる暮らしや就労に関するミニ勉強会のあと参加者さんとの座談会を実施。個別相談にも対応します。
- ・がんと仕事の相談タイム（毎月第1・3金曜日14:00～16:00）
ハローワーク金沢就労ナビゲーターによる出張個別相談。求人情報の閲覧適宜。

この他、電話や面談での個別相談対応や体力アップなど目的に応じた様々なプログラムを開催

□ 周知・普及・促進活動

- ・がんと暮らしに関する疑問をまとめた「なんとかなるカモカード」を配布しています。

- ・希望する団体・事業所等で医師・看護師・がん経験者による無料出張講座を開催しています。

□ お問い合わせ先

石川県がん安心生活サポートハウス つどい場はなうめ

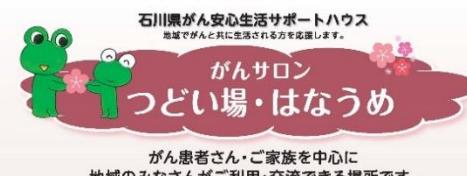
所在地：金沢市本多町3-1-10 石川県社会福祉会館3階

時間：月曜日～土曜日9:00～16:00（第2、4金曜日は21:00まで）

電話：076-234-2108 メール：tsudoiba@saiseikaikanazawa.jp

□ ホームページ <https://saiseikaikanazawa.jp/hanauime/>

なんとかなるカモカード 無料出張講座の詳細 ホームページ



がん患者さん・ご家族を中心
地域のみなさんがご利用・交流できる場所です。

金沢大学附属病院 患者サポートセンター

□ 治療と仕事の両立支援への取組の概要

金沢大学附属病院：患者サポートセンターでは、がん、肝疾患、脳血管疾患、心疾患、糖尿病、若年性認知症、指定難病、その他の疾患を対象に相談対応している。

また、社会保険労務士やハローワークによる就職支援ナビゲーター、両立支援促進員と連携し本人家族への情報提供に努めている。

□ 対象者 不問

□ 対応者 看護師、医療ソーシャルワーカー

□ 内容

【方法】

- 電話または面談

【相談例】

- 医療費や生活費について
- 会社に病気のことをどのように説明したらいいか
- 退職後の健康保険はどのように選択したらいいか
- 通院しながらはらくことはできるか
- 就職活動で企業に病気のことを伝える必要があるか など

□ 周知・普及・促進活動

- 相談窓口のリーフレットを作成し院内に掲示、持ち帰り用にプロムナードに設置している
- 石川県立図書館ヘリーフレットを配布している

□ お問い合わせ先

金沢大学附属病院 患者サポートセンター

所在地：金沢市宝町13-1

電話：076-265-2000（代表） 076-265-2040（直通）

□ ホームページ

<https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/medical/renkei.html>



金沢医科大学病院 がん相談支援センター（患者相談支援窓口）

□ 治療と仕事の両立支援への取組の概要

がん・糖尿病・肝疾患等の患者を対象に、治療と仕事の両立に関する相談対応を行っています

□ 対象者 患者、家族等

□ 対応者 ソーシャルワーカー、看護師、社会保険労務士、就職支援ナビゲーター

□ 内容

【相談内容】

- 傷病手当金や失業給付について知りたい
- 年金制度など利用できるものはあるか
- 病気のことをどのように会社に伝えればよいか
- 休職、復職について

【電話・面談対応時間】

① ソーシャルワーカーの相談支援

月曜日～金曜日（休診日を除く） 8:45～17:00

土曜日（休診日を除く） 8:45～12:45

② 社会保険労務士による就労相談

毎週木曜日（休診日を除く） 9:00～13:00

③ 就職支援ナビゲーター（ハローワーク金沢）による就労相談 ※事前予約必要

毎月第2水曜日（休診日を除く） 10:00～12:00

□ 周知・普及・促進活動

相談窓口のリーフレットを院内に掲示・配布

□ お問い合わせ先

金沢医科大学病院 がん相談支援センター（患者相談支援窓口）

所在地：河北郡内灘町大学1-1 電話：076-286-3511

□ ホームページ

<https://www.kanazawa-med.ac.jp/~center21/gankyoten/>



□ 治療と仕事の両立支援への取組の概要

石川県立中央病院 患者総合支援センターは、がん・糖尿病・肝疾患・脳卒中・その他の疾患を対象とする両立支援の相談対応を行っているほか、必要時事業者、患者間の調整等を行っています。

対象者 患者、家族、事業主等

対応者 両立支援コーディネーター、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士、リハビリテーション専門職、社会保険労務士 等

内容 主に面談、電話にて相談をお聞きします。

- ・職場への伝え方 ①診断書作成についての相談
- ・生活費・医療費にまつわること ②傷病手当の相談

周知・普及・促進活動 リーフレットの設置

お問い合わせ先

石川県立中央病院 患者総合支援センター

所在地：金沢市鞍月東2丁目1番地 電話 076(237)8211(代)

ホームページ <https://kenchu.ipch.jp/>



金沢医療センター

□ 治療と仕事の両立支援への取組の概要

医療ソーシャルワーカー、看護師、社会保険労務士等によるがん・糖尿病・肝疾患その他の疾患の患者や家族の気持ちや要望等をお聴きし、仕事を含め治療や生活のことを共に考え支援を行います。

対象者 患者とその家族、事業所担当者

対応者 医師、看護師、医療ソーシャルワーカー（両立支援コーディネーター）、社会保険労務士

内容 面接での相談、電話相談が可能です。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| ・病気について職場にどこまで伝えたらよいか | ・仕事を休んでいる間の補償はあるか |
| ・がんと診断されたため仕事はやめたほうがよいか | ・復職の時期をどうしたらよいか |
| ・退職後の生活のために利用できる制度はあるか | 等 |

周知・普及・促進活動 相談窓口の案内のチラシを病院内に掲示・配布

お問い合わせ先

金沢医療センター がん相談支援センター、医療福祉相談室

所在地：金沢市石引1番1号 電話：076(262)4161(代表)

ホームページ <http://kanazawa.hosp.go.jp>

<http://kanazawa.hosp.go.jp/pv/cancer.html>



金沢大学附属病院 肝疾患相談センター

□ 治療と仕事の両立支援への取組の概要

金沢大学附属病院・肝疾患相談センターは、がん・糖尿病・肝疾患その他の疾患を対象とする両立支援の相談対応をハローワーク金沢と連携して行っています。

対象者 患者・患者家族など

対応者 就職支援ナビゲーター

内容 電話予約のあつた対象者と、病院内相談室にて就職支援ナビゲーターが対面にて相談

周知・普及・促進活動

相談窓口のリーフレットを金沢大学附属病院内に設置

相談案内チラシが入ったポケットティッシュを作成、

県内の保健福祉センター等にて配布

お問い合わせ先

金沢大学附属病院

肝疾患相談センター

所在地：金沢市宝町13-1

電話：076-265-2244

メール：kan_en@m-kanazawa.jp



ホームページ <https://www.kubix.co.jp/kanshikkankanazawa/advice/syuurou.html>

治療と仕事の両立支援への取組の概要

「石川産業保健総合支援センター」は、事業者側、労働者（患者）、家族を対象とした治療と仕事の両立支援の相談対応や個別支援を行っているほか、労働者や事業場担当者向けの研修会の開催等を行っています。

 対象者 労働者（患者）とその家族、事業主、事業場担当者、病院関係者 対応者 労働衛生専門職（両立支援担当）、産業保健専門職、メンタルヘルス対策・両立支援促進員 内容

ガイドライン等を踏まえ、労働者（患者）に係る健康管理、就業上の配慮事項、両立支援を行うための職場環境整備（事業場内の体制づくり、規程・制度の整備、啓発教育等）等について、相談に応じています。

 周知・普及・促進活動

- ・治療と仕事の両立支援をテーマとしたセミナーの開催
- ・労働者健康安全機構本部主催の両立支援コーディネーター研修
- ・メールマガジン、ホームページ、メールによる情報提供
- ・石川県内の事業場に対し、治療と仕事の両立支援の普及促進のための個別訪問

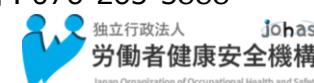
 お問い合わせ先

（独）労働者健康安全機構石川産業保健総合支援センター

所在地：金沢市西念1-1-3コンフィデンス金沢8F 電話：076-265-3888

 ホームページ

<https://www.ishikawas.johas.go.jp/>



日本労働組合総連合会石川県連合会

 治療と仕事の両立支援への取組の概要

加盟組合に対する制度の周知と、労使で協議し社内制度を設けるよう呼び掛けています。

 周知・普及・促進活動

連合石川の運動方針や生活闘争方針に明記し、取り組みを行っています。

 お問い合わせ先

日本労働組合総連合会石川県連合会

金沢市西念3丁目3番5号 石川県勤労者福祉文化会館6階

電話：076-265-5505

 ホームページ <https://rengo-ishikawa.jp/>

かほくう!石川



日本キャリア開発協会 (JCDA)

 治療と仕事の両立支援への取組の概要

2017年より社会貢献事業治療と仕事の両立支援プロジェクトとして地域両立支援推進チームへ参加や両立支援キャリアカウンセリング（30分無料相談）を行っているほか、2020年休眠預金活用事業としてキャリア支援プログラム「りぼら」を開発し、助成金終了後も有病者（個人）のキャリア支援や企業へのインターンシッププログラムの実施など継続して推進しています。

 対象者 がん等の大きな病気を経験された方、これから治療もしくは治療中の患者で働いている方、または、これから働きたい方 対応者 キャリアカウンセラー 内容 電話もしくはオンラインにて無料相談

- | | |
|------------------|-----------------|
| ・体力低下や副作用による就労不安 | ・復帰時期・退職への迷い |
| ・就職＆復職にむけた準備 | ・周囲への理解や伝え方、関係性 |
| ・心身と仕事、制度との折り合い | ・これまでの経験の活かし方 等 |

 周知・普及・促進活動

- ・職場や地域への啓発活動（日本対がん協会共催の就労イベント定期開催等）
- ・キャリアコンサルタントへの教育・啓発（学習機会の提供・会報誌にて情報発信）
- ・社会復帰プログラム「りぼら」（協力企業との仕事体験プログラム）

 お問い合わせ先 日本キャリア開発協会 ホームページ <https://www.j-cda.jp/about/hatarakikata/counseling.php>

石川県社会保険労務士会

治療と仕事の両立支援への取組の概要

患者とご家族、企業、医療機関の三者の間に立ち、病気になられた方の治療と仕事の両立、休職、職場復帰や再就職を労務管理の専門家として支援しています。また、がん診療連携拠点病院等にあるがん相談支援センター（県内6機関）に於いて、がんで闘病中の方の就労継続を支援するため、就労相談を行っています。通院中の方はもちろん、ご家族の方からのご相談も受け付けています。

相談は無料です。

対象者 事業場のご担当者の方、患者（労働者）の方、患者のご家族

対応者 社会保険労務士

内容

- ・職場への疾患の内容や治療の状況などの伝え方、休暇の取り方の相談
- ・患者さん、職場（上司や産業医等）、病院で情報共有し、復職等に向けた働き方の提案と調整
- ・薬の副作用や治療の後遺症の見通しにより、治療と仕事の折り合いの付け方を考えたい。
- ・短時間勤務において復職を考えているが、社会保険等の取扱いはどのようになるか。
- ・勤務内容と病状を踏まえた「詳しい診断書」等の作成の相談
- ・がんと診断されたが、長年勤めてきた勤務先を辞めなくてはならないのか。
- ・現在休業中で「医療費」など経済的に不安だが、公的に使える制度はあるのか。
- ・勤務先に病状と治療について、どのように伝えれば良いのか。

お問い合わせ先 石川県社会保険労務士会 電話：076-291-5411

ホームページ <https://ishikawa-sr.net/>



日本産業カウンセラー協会中部支部北陸事務所

治療と仕事の両立支援への取組の概要

日本産業カウンセラー協会中部支部北陸事務所は、働く人の悩みなどの相談を行っており、病気と治療との両立支援の相談対応にかかる悩みなどにつきましてもご支援をさせて頂いております。

対象者 事業場のご担当者の方、患者（労働者）の方、家族、地域住民

対応者 産業カウンセラー

内容

職場で治療を受けながら働く職場として、患者の上司、同僚、そしてご家族等の対応について、働きながら治療をしている患者に対して、どのように接するのか、その話の聞き方、寄り添い方はどのようにするべきなのか、また職場へ疾患の内容や治療の状況などの伝え方などについて、カウンセリングをお受けします。

その他 有料：1時間当たり8,800円

お問い合わせ先 電話：076-224-9303

ホームページ（中部支部） <https://chubu.counselor.or.jp/>



石川県医療ソーシャルワーカー協会

治療と仕事の両立支援への取組の概要

医療ソーシャルワーカーががん・糖尿病・肝疾患その他の疾患の患者や家族の気持ちや要望等をお聴きし、仕事を含め治療や生活のことを共に考え支援を行います。

対象者 患者とその家族、事業所担当者

対応者 医療ソーシャルワーカー

内容 面接での相談、電話相談が可能です。

- ・病気について職場にどこまで伝えたらよいか
- ・がんと診断されたため仕事はやめたほうがよいか
- ・退職後の生活のために利用できる制度はあるか
- ・仕事を休んでいる間の補償はあるか
- ・復職の時期をどうしたらよいか
- 等

周知・普及・促進活動

各病院相談窓口の案内のチラシを病院内に掲示・配布

社会保険労務士との学習会の開催（年1回程度）

お問い合わせ先

事務局：JCHO金沢病院 電話：076（252）2200

ホームページ <https://www.jamsw.jp>



石川県看護協会 ナースセンター

- 治療と仕事の両立支援への取組の概要** 障害を抱えている看護職と看補助者の求職者・家族
- 対象者** 求職者・家族
- 対応者** 支援相談員
- 内容** 就業相談、障がい者枠施設の紹介等
- お問い合わせ先** 石川県看護協会 ナースセンター
所在地：金沢市兼六元町3番69号
電話：076-225-7771
- ホームページ** <https://www.nr-kr.or.jp/nursecenter/nursecenter03.html>



ハローワーク金沢

- 治療と仕事の両立支援への取組の概要**
長期にわたる治療等を受けている方に対し、就職に向けた悩みなどの相談とともに職業紹介を行うなどの就職支援を行っています。
- 対象者** がん、肝炎、糖尿病等の疾病により長期にわたる治療等を受けながら、就職を希望する方
- 対応者** 専任の就職支援ナビゲーター
- 内容**
 - ・長期療養を要する診断を受けた方の出張相談
 - ・がんサロン利用者に対して定期的な出張相談
 - ・就労に向けて、応募事業所への病気の伝え方等の相談
 - ・生活費、医療費の相談
- 周知・普及・促進活動**
 - ・ハローワーク窓口における利用者への周知
 - ・ハローワークHPにリーフレット掲載
 - ・連携先病院内にリーフレット設置
- お問い合わせ先**

ハローワーク金沢（金沢公共職業安定所） 所在地：金沢市鳴和1-18-42
電話：076-253-3032（職業相談窓口）
- ホームページ** https://jsite.mhlw.go.jp/ishikawa-roudoukyoku/hw/hw_kanazawa.html#%E3%81%9D%E3%81%AE%E4%BB%96



石川労働局 雇用環境・均等室「総合労働相談コーナー」

- 治療と仕事の両立支援への取組の概要**

「総合労働相談コーナー」は、県内5か所に設置され、両立支援に関するトラブル等の職場環境を含め、労働問題に関するあらゆる分野の相談をお受けします。
- 対象者** 事業場のご担当者の方、労働者の方
- 対応者** 総合労働相談員
- 相談例**
 - ・治療と仕事の両立にかかる紛争
 - ・いじめ・嫌がらせなどの職場環境に関する紛争
 - ・解雇、雇止め、労働条件の不利益変更などの労働条件に関する紛争
 - ・募集・採用に関する紛争
- お問い合わせ先**

石川労働局 総合労働相談コーナー（所在地は下記ホームページでご確認ください。）
電話：労働局 076-265-4432 金沢 076-292-7947 小松 0761-22-4207
七尾 0767-52-7640 穴水 0768-52-1184
- ホームページ** https://jsite.mhlw.go.jp/ishikawaroudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/kobetsu_roudou_funsou/tetsuzuki/sodan01.html



石川労働局 労働基準部健康安全課（推進チーム事務局）

- 治療と仕事の両立支援への取組の概要**

石川県地域両立支援推進チームの事務局を担当しています。
治療と仕事の両立支援のためのガイドラインに関する相談、体制や関係規程の整備、
治療と仕事の両立支援窓口の紹介等の相談をお受けします。
- お問い合わせ先** 石川労働局労働基準部健康安全課
所在地：金沢市西念3-4-1 電話：076-265-4424
- ホームページ** <https://jsite.mhlw.go.jp/ishikawa-roudoukyoku/roudoukyoku/annai02/roudoukijyun/sangyo.html>

厚生労働省

石川労働局

